

としょかん つうしん

11月号



今月のテーマは「賞をとった絵本」です。
読書週間となりました。家族みんなで絵本を楽しみましょう。

『まんまるおつきさまをおいかけて』

年少くらいから



ケビン・ヘクス／作・絵 小池 昌代／訳 福音館書店

「みるくの はいった おさらが あるよ」空の月を見上げて、子猫はそう思いました。そしてそのミルクを飲もうと子猫は何度も挑戦しますが、手が届きません。とうとう家へかえることにしましたが…。子猫は好奇心いっぱい、ミルク飲もうと追いかけるけなげな姿に、思わず応援したくなります。

【2005年コールデコット賞受賞】

『さかさまライオン』

年中くらいから



内田 麟太郎／文 長 新太／絵 童心社

ライオンと影の立場がさかさまになり、影が主人公となるユニークなお話。影に引っぱられて後ろ向きに走るライオン、狩人に崖っぷちへ追い込まれるライオンと影…など、まさかの展開がおもしろく、影の特質をいかしたラストシーンにも注目の発想豊かな楽しい絵本です。

【1986年第9回絵本にっぽん賞受賞】

『エイモスさんがかぜをひくと』

年長くらいから



フィリップ・C. ステッド／文 エリン・E. ステッド／絵
青山 南／訳 光村教育図書

エイモスさんは動物園で仕事をしています。そして、いつも忙しい仕事の合間に、友達である動物たちに会いに行くのです。ところが、ある日エイモスさんが風邪をひいてしまいました。エイモスさんに会えない動物たちは…。優しい絵柄で描かれる、エイモスさんと動物たちの心温まる絵本です。

【2011年コールデコット賞受賞】

※対象は目安です。対象以外のお子さまでも楽しめます。
同様のもの、過去のものを取手市立図書館のホームページ上でも公開しています。

[おすすめえほん](#) [取手市立図書館](#)で検索